

今年8月、名古屋国際会議場（名古屋市熱田区）でNIE全国大会が開催された。愛知県内での先進的な取り組みやユニークな授業などについて、実践報告や公開授業が行われた。

今年3月に公示された新学習指導要領にうたわれた、平成32年度から全面実施となる「主体的・対話的で深い学び」において新聞をどう使うか、今後のNIEの進展に期待が寄せられている。

名古屋市立宝小学校は「情報活用の実践力を高めるNIE実践～学習に広がりや深まりを持たせる新聞活用～」と題して発表。小学4年から6年生で総合学習、国語、社会科を横断的に活用した読み比べや切り抜き新聞作りなどについて報告した。特に6年生では消費税増税について記事やネットで収集した情報をもとに賛成や反対の意見を



NIE全国大会会場では多くの
 取り組みが紹介された
 8月4日、名古屋市

実践報告や公開授業など多彩

表明した後、お互いの意見に対する意見を重ねていくことで、より深い学びにつなげた実践を紹介した。

発表した山内彰一教諭は「新聞を読み比べさせることで、児童の考えや思いが揺れて、より学びが深くなった」と話した。

新聞販売店が主役になった、NIEの取り組みをシンポジウ

ム形式で紹介した「地域で支えるNIE ～販売店との連携を考える」も開かれた。中日新聞の販売店グループは出前授業での講師だけでなく、講師養成も行う事例を発表。また独自に幼児向けの「しんぶんのうた」とダンスを考案、新聞社と連携して普及を目指す販売店の取り組みも紹介された。